

# (株)吉田プレス 環 境 行 動 計 画

平成 25 年 4 月 1 日

## 取 組 方 針

株式会社吉田プレスは、当社の事業活動である〔金属プレス加工及び精密板金加工〕を行う過程で地球環境に与える負荷（資源・エネルギー消費・廃棄物等）を認識し、社員一丸となってこれらの軽減に努め環境保全の推進を行います。

## 環境行動指針

私たちは、当社の事業活動にかかる環境関連法規制の順守及び以下の行動を全社員で取り組みます。

- ① 節電、エコドライブの啓発による省エネルギー
- ② 節水・紙使用量の節減による省資源
- ③ 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ④ 危険物・化学物質の安全な取扱
- ⑤ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）による社内美化活動の徹底

この方針にそって社員一人ひとりが環境に対する高い意識をもち、環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 25 年 4 月 1 日

株式会社 吉田プレス

代表取締役社長 吉田 幸三

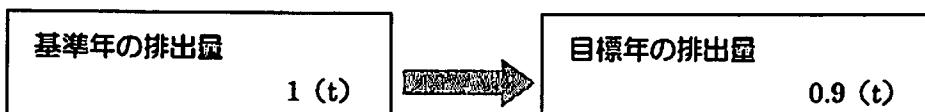
### 3 環境負荷の低減目標

2014 年度末までの環境負荷の低減目標は、次のとおりです。（数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも 2012 年です。）

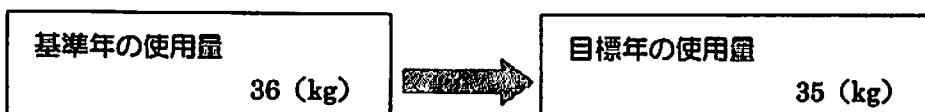
#### 【目標1】 二酸化炭素の総排出量を 2%削減する



#### 【目標2】 産業廃棄物の排出量を 2%削減する



#### 【目標3】 コピー用紙の使用量を 2%削減する



#### 【目標4】 水使用量を 2%削減する



#### 【目標5】 危険物・洗浄剤の安全管理を徹底する

### 4 環境保全に向けた具体的な取組

#### 【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

（製造部門での活動）

- ・ 昼休みと休憩時間には、コンプレッサー等、使用していない機械の電源を切る
- ・ コンプレッサーのエア漏れを定期的に点検する
- ・ 冷却ファンと換気扇モーターのインバーター制御を検討する
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする
- ・ 従来型蛍光灯を高効率蛍光灯やLED照明に交換する

（事務・営業部門での取組）

- ・ 事務室の空調温度を適正（冷房時 28 度、暖房時 20 度）に設定する
- ・ エアコンを使用するときはサーキュレーター等を併用し空気を循環させる
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 社用車の効率的な使用（運転経路、相乗り）を徹底する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する
- ・ 低燃費車の導入を進める

## 【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

### (産業廃棄物)

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ・ 製造工程から発生する金属くずは全てリサイクルする
- ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- ・ 不良品・スクラップ製品の発生状況を記録し、掲示する
- ・ ウエス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない

### (一般廃棄物)

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

## 【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

## 【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 融雪装置の使用をなるべく控える

## 【取組5】 危険物・洗浄剤の安全管理

- ・ 危険物・洗浄液・使用済み洗浄剤は、決められた保管場所に保管する
- ・ 危険物・洗浄液・使用済み洗浄剤の容器は、確実に蓋をする
- ・ 危険物・洗浄液を取り扱う社員に対して定期的に安全教育を行う

## 【取組6】 その他の取組

- ・ 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する
- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ・ 大型機械を扱う作業は、夜間・休日に行わない
- ・ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する

## 5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、「半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。